

厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）

分担研究報告書

**労働災害防止対策の推進とESG投資の活用に資する調査研究**

**ESG における労働安全衛生開示の良好事例に関するインタビュー調査（大企業）**

研究協力者 下田屋 毅 一般社団法人サ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン

研究代表者 永田 智久 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 准教授

**研究要旨：**

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG) の観点から、各産業別で、企業のESG情報開示の労働安全衛生に関する項目インタビュー調査を実施し、労働安全衛生に関してどのように情報開示をしているのか明確にすることを目的とした。

ESG情報開示の安全衛生項目について、今回4社（味の素株式会社、株式会社堀場製作所、株式会社リクルートホールディングス、ヤマト運輸株式会社）とインタビューを実施することができた。他国内1社（塩野義製薬株式会社）、海外1社（Nestlé S.A.）については、Website、および報告書についての情報開示内容を確認した。

今回の調査については、産業別で実施し、情報開示の産業別の状況についても確認を実施した。産業としては、食品産業、製造業、IT産業、運輸業、製薬産業の5つの産業を選定した。産業別での違いについては、自社で工場を持たないIT産業において、安全衛生の開示がない状況である。「健康経営（働く人の健康）」においては、産業医や保健士等の産業保健スタッフ体制の開示は、メンタルヘルス対応としての産業医との面談などの記述はあるものの、体制についての開示はない。また取締役会で報告・審議されていることについて、「労働安全衛生」と「健康経営」の開示をしている企業はなく、取締役会における報告・審議の透明性が図れていない状況である。

「取引先企業（サプライチェーン）の労働安全衛生」の質問項目は、調達方針はあるものの、取引先企業への安全衛生監査の実施や、その開示まで進んでいないのが実態として分かった。投資家との対話で安全衛生や労働者の健康が話題となったかについては、回答を得た4社のいずれも話題となっていない状況であり投資家の優先順位は高くないことが分かった。

## A. 目的

本研究では、Environmental, Social and Governance (ESG) の観点から、各産業別で、企業のESG情報開示の労働安全衛生に関する項目インタビュー調査を実施し、労働安全衛生に関してどのように情報開示をしているのか明確にすることを目的とした。

## B. 方法

企業の中でもサプライヤー管理を先進的に実施している日本企業へ、どのように労働安全衛生に関する情報開示実施しているのかインタビューの実施を試みた。今回4社（味の素株式会社、株式会社堀場製作所、株式会社リクルートホールディングス、ヤマト運輸株式会社）とインタビューを実施することができた。他国内1社（塩野義製薬株式会社）、海外1社（Nestlé S.A.）については、Website、および報告書についての情報開示内容を確認した。

## C. 結果

1. 貴社のESG情報開示を担当する部門はどの部門になりますか。（担当者/選任者の有無）

(1) 味の素株式会社：

グローバル・コミュニケーション部が統合報告書とサステナビリティ・データブックを担当しており、投資家と対話を行っている。

サステナビリティ推進部はコンテンツを作成するのみ。

(2) 株式会社堀場製作所：

ESGの企画、統合報告書の発行に関しては、IR担当部門である経営企画室が担当。

Websiteでの開示については、コーポレート・コミュニケーション・オフィスが担当部門として実施している。

ESG情報開示の前提として、海外を含まず、国内のグループ会社までをバウンダリーとしている。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

サステナビリティ・トランスフォーメーション部。全体で相談しながら実施している。

(4) ヤマト運輸株式会社：

サステナビリティ推進部 社会領域戦略課（担当者3名）

(5) 塩野義製薬株式会社：不明

(6) Nestlé S.A.：不明

2. ESG情報開示として、サステナビリティ報告書等へ記載する安全衛生、健康について、どの部署が担当、そして執筆していますか。

(1) 味の素株式会社：安全衛生の項目については、マニファクチャリング戦略部が担当。健康は人事部が担当し執筆している。

(2) 株式会社堀場製作所：総務部安全衛生チームが詳細データを集めて、コーポ

レート・コミュニケーション・オフィスにて、情報をベースに執筆している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

サステナビリティ・トランスフォーメーション部が主管部門となっている。健康に関するデータを人事・労務・総務部門から情報をもらい、それをベースにサステナビリティ・トランスフォーメーション部が執筆している

(4) ヤマト運輸株式会社：

担当：安全部（労働安全衛生課）

執筆：サステナビリティ推進部（社会領域戦略課）

サステナビリティ推進部が安全部にヒアリングをして執筆をしている。

(5) 塩野義製薬株式会社：不明

(6) Nestlé S.A.：不明

3. ESG情報開示担当部門、サステナビリティ部門、安全衛生部門はどのように安全衛生の情報開示について連携をしていますか。

(1) 味の素株式会社：

安全に関する情報については、マニファクチャリング戦略部、健康については人事部が情報を収集し、グローバル・コミュニケーション部が開示している。

(2) 株式会社堀場製作所：

総務部安全衛生チームがデータを取りま

とめ、コーポレート・コミュニケーション・オフィスがその情報をベースに執筆を行い、IRでその内容をレビューをしている。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

サステナビリティ・トランスフォーメーション部が主管部門となっている。健康に関するデータを人事・労務・総務部門から情報をもらい、それをベースにサステナビリティ・トランスフォーメーション部が執筆している

(4) ヤマト運輸株式会社：

年に1度、Websiteの更新のタイミングで連携をしている。

(5) 塩野義製薬株式会社：不明

(6) Nestlé S.A.：不明

4. 安全衛生に関する情報開示を行っている媒体は何になりますか？（サステナビリティ報告書、統合報告書、Website他）

(1) 味の素株式会社：

サステナビリティ・データブック

(2) 株式会社堀場製作所：

堀場製作所のCSRに関するWebsiteで情報開示を実施している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

ESGデータブック

(4) ヤマト運輸株式会社：

Websiteにて情報開示。

(5) 塩野義製薬株式会社：

Websiteにて情報開示。

(6) Nestlé S.A. :

Creating Shared Value report, Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix、Website

5. 安全衛生と健康に関して執筆する項目はどのように決めていますか？（GRI、SASB、インデックス/投資家からの要請等）

(1) 味の素株式会社：GRI

(2) 株式会社堀場製作所：

GRI、SASBの参照と他社の事例を参考にしている。White500に選定されている。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

MSCI、サステナリティクス、DJSI、FTSE、VigioEiris、ISS、ブルームバーグESG格付け機関、投資家と対話を実施している。

(4) ヤマト運輸株式会社：

FTSE、MSCI、サステナリティクスなど外部評価機関の基準やGRIガイドラインを参照。

(5) 塩野義製薬株式会社：不明

(6) Nestlé S.A. :

GRIのガイドラインを使用している。またビジネスと人権に関してUN Guiding Principles on Business and Human Rights Reporting Frameworkを使用している。FTSE4Good Index、MSCIのインデックスに入っている。

6. 次の安全衛生と健康に関する情報開示（サステナビリティ報告書・Website等）の報告事項について、記載の有無と記載の場合の理由についてお聞かせください。

1) 労働安全衛生の基本方針の制定

(1) 味の素株式会社：

情報開示あり。グループポリシー

(2) 株式会社堀場製作所：

情報開示有り。労働安全衛生方針としてCSR Websiteへ掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社：

Website上の2か所に開示。

・「安全管理規定」を掲載。

・「ヤマトグループ人権方針」において、「2. 重要と考える人権課題」として、労働安全衛生を明記。

「(4) 労働安全衛生：従業員の安全確保及び健康維持を目指し、安全で衛生的な職場環境の整備を実施します。」

(5) 塩野義製薬株式会社：

情報開示なし。

(6) Nestlé S.A. :

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work

・Explanation of the material topic and its boundary

・ The management approach and its components

・ Evaluation of the management approach

## 2) 労働安全衛生の社内での組織・体制

### (1) 味の素株式会社：

情報開示有。労働安全衛生マネジメント体制。

### (2) 株式会社堀場製作所：

IMS統合マネジメントシステムを採用しているため、その体制についてはあるが、安全衛生について特別に掲載はしていない。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

### (4) ヤマト運輸株式会社：

Website上に労働安全衛生の推進体制を下記の通り専任部署と委員会の設置について明記。「コーポレート本部に労働安全衛生を担当する専任部署を設置するとともに、労働安全を担当する役員が責任者となり委員長を務める中央安全衛生委員会を設置し、全社の推進を行っています。」

・ サステナビリティ推進体制について明記。

※「サステナブル中期計画2023」を2021年1月に策定し、重点分野10項目の中に「安全・安心」を設定。「ヤマトグループ社会領域推進委員会」で情報共有や審議

を行い、重要議題については、適宜経営会議や取締役会で議論・決議を行っている。

### (5) 塩野義製薬株式会社：

情報開示なし

### (6) Nestlé S.A.：

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work

3) 労働安全衛生が取締役会で報告・審議されていること

### (1) 味の素株式会社：

情報開示なし。経営会議で報告されていることの記載。内容については記載がない。

### (2) 株式会社堀場製作所：

情報開示なし

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

### (4) ヤマト運輸株式会社：

推進体制の図に「ヤマトグループ社会領域推進委員会」がある。具体的に労働安全衛生について取締役会で報告・審議されている項目の記載はなし。

### (5) 塩野義製薬株式会社：

情報開示なし

### (6) Nestlé S.A.：

情報開示なし

4) 労働安全衛生マネジメントシステムの

認証 (ISO45001, OHSAS18001など)

(1) 味の素株式会社 :

情報開示あり。 OHSAS18001を取得し、それをISO45001に切り替えている。

サステナビリティ・データブックP114

(2) 株式会社堀場製作所 :

情報開示有り。統合マネジメントシステムとして掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

取得していないため、開示なし。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

情報開示あり。OHSAS18001からISO45001への移行について。

(6) Nestlé S.A. :

Occupational health and safety management system

Workers covered by an occupational health and safety management system

5) 安全や健康に関するリスク評価の結果

(1) 味の素株式会社 :

情報開示あり。安全衛生に関するアセスメント・監査・点検等の実施として掲載。

(2) 株式会社堀場製作所 :

IMSの目標がリスクベースとして掲載されている。

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

労働安全衛生については、マテリアルな

位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

リスク評価は開示していないが、重点分野の10項目をWebsite上に明記。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

情報開示あり。リスクアセスメントの実施と重要リスクの特定、また化学物質のリスクマネジメントの評価基準の設定等の開示あり。

ケミカルハザードガイドライン (化学物質取り扱いガイドライン) の充実に関する開示。

(6) Nestlé S.A. :

Hazard identification, risk assessment and incident investigation

6) 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション

(1) 味の素株式会社 :

情報開示あり

(2) 株式会社堀場製作所 :

情報開示有り。労働者の参加の事例の記載あり

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

労働災害防止に向けてグループ各社で行う教育についてWebsite上に明記。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

情報開示なし

(6) Nestlé S.A. :  
Worker participation, consultation and communication on occupational health and safetyとして掲載

#### 7) 労働安全衛生に関する労働者研修

(1) 味の素株式会社 :  
情報開示あり。「巻き込まれ災害防止セミナー」「転倒セミナー」  
従業員への労働安全衛生教育

(2) 株式会社堀場製作所 :  
情報開示有り。労働安全衛生教育の実施の中で「ホリバカレッジ」一環として労働安全衛生教育を実施しているとして掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス :  
労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社 :  
「新入社員向け研修」「eラーニング」の回数をWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社 :  
情報開示なし

(6) Nestlé S.A. :  
Worker training on occupational health and safetyとして掲載

#### 8) 労働安全衛生の担当者への教育・研修

(1) 味の素株式会社 :  
情報開示あり。「巻き込まれ災害防止セミナー」「転倒セミナー」

従業員への労働安全衛生教育

(2) 株式会社堀場製作所 :  
情報開示有り。労働安全衛生教育の実施の中で「ホリバカレッジ」一環として労働安全衛生教育を実施しているとして掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス :  
労働安全衛生については、マテリアルな位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社 :  
「安全推進担当者・責任者向け研修」「フォークリフト研修」「他労働安全衛生関連研修」の各回数をWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社 :  
情報開示なし

(6) Nestlé S.A. :  
Worker training on occupational health and safetyとして掲載

#### 9) 労働災害件数（死傷者数も含む）

(1) 味の素株式会社 :  
情報開示あり。主な災害の発生件数推移を5年分掲載

掲載項目：重大災害件数、重大通勤災害件数、死亡災害件数、巻き込まれ被災者数、転倒による被災者数、腰痛による被災者数

「重大・休業災害者度数率」のデータを5年分（2016年～2020年）掲載

掲載項目：被災者数（休業）、被災者数（重大）、度数率、労働損失日数率、職業性疾

病度数率

(2) 株式会社堀場製作所：

情報開示有り。労働災害データを2年分

(2019年、2020年) Websiteへ掲載

開示項目：死傷者数、労働損失日数(日)、  
度数率、強度率

(3) 株式会社リクルートホールディング  
ス：

労働安全衛生については、マテリアルな  
位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社：

情報開示あり。輸送の安全の中で、「重大  
交通事故の件数」2016年～2020年の5年分  
をWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社：

情報開示あり。2019年度の1年の実績を掲  
載。

掲載項目：労働災害件数、休業災害件数、  
度数率、強度率について。

(6) Nestlé S.A.：

Worker related incidentsとして掲載

また、Health and safety data として以  
下2つを掲載

・ Recordable injury rate (per million  
hours worked)

・ Externally reported fatalities by  
victim status

10) その他に重要と思われる情報

(1) 味の素株式会社：

労働安全衛生の重点目標と施策について  
の情報開示。

安全衛生に関する法令違反と労働災害に  
対する対応の開示。

(2) 株式会社堀場製作所：

特になし

(3) 株式会社リクルートホールディング  
ス：

労働安全衛生については、マテリアルな  
位置づけではなく情報開示していない。

(4) ヤマト運輸株式会社：

「運輸安全マネジメント情報の公開につ  
いて」を掲載している。

その項目1の基本的な方針として、以下  
の2つを掲げている。

1. 「安全第一、営業第二」の理念の具現  
化

2. 安全管理体制・安全衛生管理体制の強  
化

(5) 塩野義製薬株式会社：

営業車両の交通事故削減の取り組みの開  
示あり。

令和元年度安全衛生徳島労働局長表彰

(6) Nestlé S.A.：

Customer of the material topic and its  
boundaryのexplanation of the material  
topic and its boundary and the  
management approach and its components  
を情報開示

<健康経営（働く人の健康）>

1) 健康経営の基本方針の制定

(1) 味の素株式会社：

情報開示あり。健康経営の考え方を掲載



(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示有り。健康経営に関する宣言・方針として「こころとからだの健康づくり」宣言、「こころとからだの健康づくり」に関する行動指針を掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし

(4) ヤマト運輸株式会社：  
「ヤマトグループ健康宣言」をWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示あり。「シオノギグループ健康基本方針」の記載あり。

(6) Nestlé S.A.：  
情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work

## 2) 健康経営の社内での組織・体制

(1) 味の素株式会社：  
健康経営推進体制の開示。「健康推進体制」と「健康経営の取り組み」において実績（「健康管理体制・手法の標準化（日本）」、「全員面談」）を提示

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし

(4) ヤマト運輸株式会社：  
・サステナビリティ推進体制について明記。

「サステナブル中期計画2023」の重点分野10項目の中に「労働」を設定し、健康経営を推進。「ヤマトグループ社会領域推進委員会」で情報共有や審議を行い、重要議題については、適宜経営会議や取締役会で議論・決議を行っている。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示なし

(6) Nestlé S.A.：  
情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work Occupational health servicesとして記載

## 3) 産業医や保健師等の産業保健スタッフの体制

(1) 味の素株式会社：  
情報開示なし

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示有り。ヘルスケア面談として産業医との面談を実施。

(4) ヤマト運輸株式会社：  
安全衛生会議への産業医の出席、また社員の健康維持向上についてWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示なし

(6) Nestlé S.A.：  
Occupational health servicesの項目に

において、次の記述あり。Occupational health team members (doctors and nurses) who ensure appropriate case management and compliance with health monitoring requirements as well as determination and reporting of work-related illnesses.

4) 健康経営が取締役会で報告・審議されていること

(1) 味の素株式会社：  
情報開示なし

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし

(4) ヤマト運輸株式会社：  
推進体制の図に「ヤマトグループ社会領域推進委員会」がある。具体的に健康経営が取締役会で報告・審議されている項目の記載はなし。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示なし

(6) Nestlé S.A.：  
情報開示なし

5) 労働者の健康課題の抽出

(1) 味の素株式会社：  
情報開示なし

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし

情報開示なし

(4) ヤマト運輸株式会社：  
Website上に2つの課題を開示。

- ・グローバルな健康課題への取り組み
- ・熱中症対策等

(5) 塩野義製薬株式会社：不明  
情報開示あり。生活習慣病対象者ゼロを目指す旨の開示あり。

(6) Nestlé S.A.：不明  
Promotion of worker health

6) 長時間労働等の働き方に関する状況

(1) 味の素株式会社：  
健康経営に関する取り組みの部分に情報開示あり。長時間労働を行った従業員や海外勤務者に対して指導・アドバイスをを行う体制も整えていることの記載。

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示有り。ダイバーシティの категорияで、働き方改革の中で掲載している。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
労働時間管理と過重労働防止施策の中で、労働時間マネジメントの推進、また過重労働の低減について記載あり。

(4) ヤマト運輸株式会社：  
ディーセントワークに向けた施策の中で、長時間労働の防止策についてWebsite上に明記。

(5) 塩野義製薬株式会社：

情報開示あり。メンタル不調に関係させて、長時間労働者対策の実施について触れている。

(6) Nestlé S.A. :

勤務時間中に休憩を促進するための簡単にアクセスできるデジタルプラットフォームの提供の掲載あり。

7) COVID-19への職場における感染対策

(1) 味の素株式会社 :

働き方改革の推進の中で、新型コロナウイルスへの対応として柔軟に働ける環境づくりを推進している。

新型コロナ・ウイルス感染拡大を受けて健康経営を重視

(2) 株式会社堀場製作所 :

情報開示なし。(ニュースリリースでは検温、手指の消毒に関する発信はあり)

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

コロナ禍に限定していないが、リモートワークの推奨。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みをWebsite上に明記。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

情報開示あり。コロナ禍での働き方として、新型コロナウイルス感染時の対応、在宅勤務の推奨など感染リスクを最小限にする取り組みの記載あり。

(6) Nestlé S.A. :

新型コロナウイルス対策としてリモート

ワークを推奨の記述あり。

8) メンタルヘルス対策に関すること

(1) 味の素株式会社 :

情報開示あり。メンタルヘルス回復プログラムについての記述あり。

(2) 株式会社堀場製作所 :

情報開示有り。メンタルヘルスのサポートとして、メンタルヘルス教育、ストレスチェック、社内専属カウンセラーによるカウンセリングについての記述あり。

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

メンタルヘルス対策として、研修にメンタルヘルスのコンテンツを含むこと、ストレスチェックの実施などの記述あり。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

メンタルヘルスに関する取り組みとして、ストレスチェックについてをWebsite上に明記。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

情報開示あり。メンタルの不調者の発生しない職場作り。従業員への研修、カウンセリング、ストレスチェックについて、長時間労働者対策、職場復帰と両立支援策の実施の記述あり。

(6) Nestlé S.A. :

コロナ禍でのメンタルの不調を訴える人がいるとの記述のみ

9) 私傷病休業・休職者数

(1) 味の素株式会社 :

職業性疾病度数率の5年分（2016年～2020年）の開示

（2）株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。

（3）株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。

（4）ヤマト運輸株式会社：  
情報開示なし。

（5）塩野義製薬株式会社：  
情報開示なし。

（6）Nestlé S.A.：  
従業員の記録可能な仕事関連の健康障害は825例、請負業者の記録可能な仕事関連の健康障害は24例との記述あり。

10) 喫煙率等、労働者の健康状態に関するデータ

（1）味の素株式会社：  
情報開示なし。

（2）株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。

（3）株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。

（4）ヤマト運輸株式会社：  
ストレスチェック規定率と乳がん検診受講率をWebsite上に開示。

（5）塩野義製薬株式会社：  
開示有り。健康診断受診率100%を継続しているとの記載あり。  
情報開示あり。喫煙者ゼロへ向けた取り

組みと2018年からの実績と目標の掲載あり。

「シオノギグループ『絶』煙宣言の発出の記載あり。

（6）Nestlé S.A.：  
Total recordable illnesses rate for employees, on-site contractors and on-site members of public (per million hours worked)

11) 健康経営銘柄/健康経営優良法人の認定状況

（1）味の素株式会社：  
情報開示あり。健康経営銘柄2021に5年連続認定。ホワイト500にも引き続き認定。

（2）株式会社堀場製作所：  
情報開示有り。ホワイト500に5年連続選定されている記述あり。

（3）株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。

（4）ヤマト運輸株式会社：  
健康経営認定制度「健康企業宣言」についてWebsite上に開示。

（5）塩野義製薬株式会社：  
情報開示あり。健康経営優良法人ホワイト500 に5年連続で認定

（6）Nestlé S.A.：  
特になし。

12) その他に重要と思われる情報

（1）味の素株式会社：

健康経営の目指す姿の掲載。健康経営に関するスコアの掲載。セルフケアを推進するための健康状態の可視化。

(2) 株式会社堀場製作所：

健康診断の充実に関する記載、ヘルスアップチャレンジに関する記載。給食委員会の記載

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
育児休暇取得（P36）、欠勤率（P22）は記載。

働き方のフレキシビリティについて、フレックスタイムの導入や休暇を増やす活動の記載あり。

(4) ヤマト運輸株式会社：

特になし。

(5) 塩野義製薬株式会社：不明  
プレゼンティーズム損失の改善についての開示。

(6) Nestlé S.A. :  
Customer Health and Safety

<取引先企業（サプライチェーン）の労働安全衛生>

1) 調達/取引に関する基本方針

(1) 味の素株式会社：  
情報開示あり。  
サプライヤー取引に関するグループポリシー  
調達に関するグループポリシー

(2) 株式会社堀場製作所：  
方針を作成し、サプライヤーへの依頼し

ている。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：

調達ガイドラインあり。

(4) ヤマト運輸株式会社：  
調達ポリシーをWebsite上に開示。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示あり。「シオノギグループ調達ポリシー」の3.2に安全衛生に関する記述あり。

(6) Nestlé S.A. :  
Nestlé Commitment on Labour Rights in Agricultural Supply Chains  
Nestle Responsible sourcing standard

2) 取引先企業（サプライチェーン）の安全衛生監査の実施状況

(1) 味の素株式会社：  
情報開示なし。

(2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。

(3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。

(4) ヤマト運輸株式会社：  
情報開示なし。

(5) 塩野義製薬株式会社：  
サプライヤーのリスク管理と監査実績の掲載あり。確認書、アンケート、現地監査の実施についてあるが、その中での労働安全衛生など詳細の記述なし。

(6) Nestlé S.A. :不明

New Suppliers that were screened using social criteria に監査の記述有

3) 取引先企業（サプライチェーン）の労働災害件数のモニタリング実施状況

- (1) 味の素株式会社：  
情報開示なし。
- (2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。
- (3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。
- (4) ヤマト運輸株式会社：  
情報開示なし。
- (5) 塩野義製薬株式会社：不明  
情報開示なし。
- (6) Nestlé S.A.：不明  
情報開示なし。

4) 労働災害への改善策とその進捗・結果

- (1) 味の素株式会社：  
情報開示なし。
- (2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。
- (3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。
- (4) ヤマト運輸株式会社：  
情報開示なし。
- (5) 塩野義製薬株式会社：  
情報開示なし。
- (6) Nestlé S.A.：

情報開示なし。

5) その他に重要と思われる情報

- (1) 味の素株式会社：  
情報開示なし。
- (2) 株式会社堀場製作所：  
情報開示なし。
- (3) 株式会社リクルートホールディングス：  
情報開示なし。
- (4) ヤマト運輸株式会社：  
情報開示なし。
- (5) 塩野義製薬株式会社：  
PSCI（Pharmaceutical Supply Chain Initiative）の原則の一つとして、安全衛生が掲げられている。
- (6) Nestlé S.A.：  
情報開示なし。

7. 投資家との対話（エンゲージメント）  
において、安全衛生や労働者の健康が話題となったことがありますか

- (1) 味の素株式会社：  
グローバル・コミュニケーション部が投資家の担当だが、安全衛生に関することで取り上げられたことは聞いていない。
- (2) 株式会社堀場製作所：  
特になし。  
ESG投資家からのトピックとしては、①気候変動、②ダイバーシティ、③サプライチェーン全体の管理と人権

(3) 株式会社リクルートホールディングス :

情報開示なし。

(4) ヤマト運輸株式会社 :

情報開示なし。

(5) 塩野義製薬株式会社 :

不明

(6) Nestlé S.A. :

不明

#### D. 考察

今回の調査については、産業別で実施し、情報開示の産業別の状況についても確認を実施した。産業としては、食品産業、製造業、IT産業、運輸業、製薬産業の5つの産業を選定した。

産業別での違いについては、自社で工場を持たないIT産業においては、労働安全衛生が企業としての重要課題となっておらず、情報開示はされていない。国内と海外の企業との違いにおいては、情報開示の方法について国内も海外もGRIをベースとしている企業が多いが、海外企業のNestléは、さらにビジネスと人権のレポートフレームワークの活用をしていたのが特徴的である。労働災害件数について、データの掲載は、経年変化が確認できるように開示をするのが望ましいが、過去5年間のデータを掲載している企業が2社、過去2年間で1社、1年間で1社という状況である。「健康経営（働く人の健康）」においては、産業医や保健士等

の産業保健スタッフ体制の開示は、メンタルヘルス対応としての産業医との面談などの記述はあるものの、体制についての開示はない。経済産業省が設定した「健康経営優良法人2018（ホワイト500）」に入っている企業が今回選定されているが、ホワイト500に選定されているからといってデータの情報開示が進んでいるというわけではない。また取締役会で報告・審議されていることについて、「労働安全衛生」と「健康経営」の開示をしている企業はなく、取締役会における報告・審議の透明性が図れていない状況である。

「取引先企業（サプライチェーン）の労働安全衛生」の質問項目は、調達方針はあるものの、取引先企業への安全衛生監査の実施や、その開示まで進んでいないのが実態として分かった。

投資家との対話で安全衛生や労働者の健康が話題となったかについては、回答を得た4社のいずれも話題となっていない状況であり、投資家の優先順位は高くないことが分かった。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

H. 知的財産権の出願・登録状況なし

なし

#### I. 引用・参考

- 味の素グループサステナビリティ・データブック2021
- 株式会社堀場製作所Website
- 株式会社リクルートホールディングス ESGデータブック
- ヤマト運輸株式会社 Website
- 塩野義製薬株式会社 Website
- Nestle\_creating-shared-value-report-2020
- Nestle\_creating-shared-value-appendix-2020



2022年2月

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・  
フォー・サステイナブル・サプライチェーン

下田屋毅

## ESG 情報開示、労働安全衛生についてのインタビューまとめ

### 1. 対象企業：塩野義製薬株式会社

※製薬会社におけるインタビュー調整がつかず、Website の情報開示データの調査を実施

### 2. 内容

(1) 貴社の ESG 情報開示を担当する部門はどの部門になりますか。(担当者/選任者の有無)

不明

(2) ESG 情報開示として、サステナビリティ報告書等へ記載する安全衛生、健康について、どの部署が担当、そして執筆していますか。

不明

(3) ESG 情報開示担当部門、サステナビリティ部門、安全衛生部門はどのように安全衛生の情報開示について連携をしていますか。

不明

(4) 安全衛生に関する情報開示を行っている媒体は何になりますか？(サステナビリティ報告書、統合報告書、Website 他)

Website をメインで使用している。

統合報告書は発行しているが労働安全衛生の記述はほとんどない。

(5) 安全衛生と健康に関して執筆する項目はどのように決めていますか？(GRI、SASB、インデックス/投資家からの要請等)

不明

(6) 次の安全衛生と健康に関しての情報開示(サステナビリティ報告書・Website 等)の報告事項について、記載の有無と記載の場合の理由についてお聞かせください。

<労働安全衛生>

① 労働安全衛生の基本方針の制定

情報開示なし。

② 労働安全衛生の社内での組織・体制

情報開示なし。

③ 労働安全衛生が取締役会で報告・審議されていること

情報開示なし。

④ 労働安全衛生マネジメントシステムの認証（ISO45001, OHSAS18001 など）

情報開示あり。OHSAS18001 から ISO45001 への移行について。

管理体制

適切な管理体制の構築として、マネジメントシステム認証の取得を進めています。摂津工場と金ヶ崎工場で認証取得したOHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム規格）は、2020年度中にISO45001への移行を進めています。また、徳島工場でも新規取得に向けて取り組みを進めています。

目標実績の進捗管理の他、リスク管理についても社内規定に基づいたリスクアセスメントを実施し重要リスクを特定し管理しています。化学物質のリスクアセスメントの評価基準を設定し、取扱う化学物質についてもリスク評価を実施しています。行政からの通知情報等にも社内対策や届出を行い、適切に対応しています。

そのほか、化学物質による労働災害を予防し、より安全な作業環境を実現するために、SDS（Safety Data Sheet：安全データシート）の管理体制整備とケミカルハザードガイドライン（化学物質取り扱いガイドライン）の充実化に重点的に取り組んでいます。

⑤ 安全や健康に関するリスク評価の結果

情報開示あり。リスクアセスメントの実施と重要リスクの特定、また化学物質のリスクマネジメントの評価基準の設定等の開示。

## 管理体制

適切な管理体制の構築として、マネジメントシステム認証の取得を進めています。摂津工場と金ヶ崎工場で認証取得したOHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム規格）は、2020年度中にISO45001への移行を進めています。また、徳島工場でも新規取得に向けて取り組みを進めています。

目標実績の進捗管理の他、リスク管理についても社内規定に基づいたリスクアセスメントを実施し重要リスクを特定し管理しています。化学物質のリスクアセスメントの評価基準を設定し、取扱う化学物質についてもリスク評価を実施しています。行政からの通知情報等にも社内対策や届出を行い、適切に対応しています。

そのほか、化学物質による労働災害を予防し、より安全な作業環境を実現するために、SDS（Safety Data Sheet：安全データシート）の管理体制整備とケミカルハザードガイドライン（化学物質取り扱いガイドライン）の充実化に重点的に取り組んでいます。

ケミカルハザードガイドライン（化学物質取り扱いガイドライン）の充実に関する開示。

## ケミカルハザードガイドライン（化学物質の取り扱いガイドライン）

医薬品の開発、製造プロセスでは、有害性情報等が少なく法規制に該当しない化学物質を取り扱う場合があります。それらの化学物質について、患者さまが使用する面からはもちろんのこと、安全衛生面から作業員へのリスクを評価し、従業員の健康を確保できるレベルに封じ込める施設を構築し維持することが大切です。シオノギでは、化学物質による労働災害を予防し、より安全な作業環境を実現するために、グローバル基準に合わせたケミカルハザードガイドラインの充実化を検討しています。

### ⑥ 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション

情報開示なし。

### ⑦ 労働安全衛生に関する労働者研修

情報開示なし。

### ⑧ 労働安全衛生の担当者への教育・研修

情報開示なし。

### ⑨ 労働災害件数（死傷者数も含む）

情報開示あり。2019年度の1年の実績を掲載。

掲載項目：労働災害件数、休業災害件数、度数率、強度率について。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/occupational-health-and-safety.html>

## 2019年度実績

労働災害	4件
うち、休業災害	1件
度数率[*1]	0.807
強度率[*2]	0.018

労働災害は通勤災害を除くシオノギ単体の件数。

### ⑩ その他に重要と思われる情報

営業車両の交通事故削減の取り組みの開示あり。

## 営業車両

交通事故の削減への取り組みとして、ハード面では自動ブレーキやアラウンドビューモニタを搭載した車両の導入をしています。また、テレマティクス[\*1]による車両運行記録の収集の検討を開始し、順次導入予定です。ソフト面では交通安全対策としてスローガンの設定や交通安全講習会の実施、日常的に安全運転の啓発をしています。

※1 テレマティクス：安全・安心機能の実現と、情報配信による利便性の向上などを目的とし、車両をインターネット上で一括管理するもの。

## 令和元年度安全衛生徳島労働局長表彰

### 表彰

～令和元年度 安全衛生徳島労働局長表彰 奨励賞を受賞（シオノギファーマ徳島工場）～

平成23年6月末より業務災害による休業災害が発生していないことや、安全衛生に関する活動として、安全管理計画に基づく化学プロセスの安全性評価と、化学物質管理が積極的（頻度）および適正・確実に取り組まれていることなどによるもので、徳島工場が他の模範となる優良事業場であると認められました。



安全衛生徳島労働局長表彰（徳島工場）

### <健康経営（働く人の健康）>

#### ① 健康経営の基本方針の制定

情報開示あり。「シオノギグループ健康基本方針」の記載あり。

**シオノギは、従業員のウェルビーイングを実現し、  
人々の健康に新たな価値を提供し続けます。**

シオノギは、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」ことを基本方針に掲げています。

この基本方針を達成するためには、変化の激しい環境にあっても、シオノギグループ行動憲章の「働き方改革、職場環境の充実」にあるように、従業員一人ひとりが身体的、精神的、社会的に幸福な状態（ウェルビーイング）で、生き生きと仕事に取り組むことが何よりも大切だと考えています。

そのために シオノギと従業員は、それぞれの立場で  
従業員の健康・医療に関するヘルスリテラシー向上に取り組めます。  
従業員および家族の心身のコンディションの維持向上に取り組めます。  
職場の風土や環境、および家庭環境の維持向上に取り組めます。

その結果  
シオノギは、従業員のウェルビーイングを実現し、人々の健康に新たな価値を提供し続けます。

塩野義製薬株式会社  
代表取締役社長

2020年8月31日 制定  
2022年1月1日 改定

「シオノギ健康基本方針」の具現化に向け、様々な施策を検討しており、これらも開示されている。

② 健康経営の社内での組織・体制

情報開示なし。

③ 産業医や保健師等の産業保健スタッフの体制

情報開示なし。

④ 健康経営が取締役会で報告・審議されていること

情報開示なし。

⑤ 労働者の健康課題の抽出

情報開示あり。 生活習慣病対象者ゼロを目指す旨の開示あり。

## 2. 生活習慣病（重症化予防、特定保健指導）対象者ゼロを目指します。

事業主と健保組合が従業員の健康データを活用し、データ分析に基づき、個人の状況に応じた保健指導や効果的な予防、健康づくりを行うコーポラヘルスの取り組みの一環として、生活習慣病対象者に対する施策を立案しました。健康診断の結果で対象者となった従業員に対して、「重症者施策」と、「特定保健指導対象者施策」の2つの施策を実施していきます。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

### ⑥ 長時間労働等の働き方に関する状況

情報開示あり。メンタル不調に関係させて、長時間労働者対策の実施について触れている。

## 5. メンタル不調の発生しない快適な職場環境づくりを推進します。

メンタル不調者の発生しない職場環境づくりに向けて、管理職を含む従業員への教育研修、カウンセリング、法に基づいたストレスチェック、長時間労働者対策を実施しています。さらにはメンタル不調者への職場復帰、両立支援策を実施しています。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

### ⑦ COVID-19 への職場における感染対策

情報開示あり。コロナ禍での働き方として、新型コロナウイルス感染時の対応、在宅勤務の推奨など感染リスクを最小限にする取り組みの記載あり。

## コロナ禍での働き方

コロナ禍においては、新型コロナウイルスに感染した、または感染が疑われる従業員、ならびに子どもの学校等の臨時休業により休暇を取得する従業員に対し、有給による休業（有給休暇の消化にあたらぬ）を適用しました。

また、在宅勤務の推奨、時差通勤や自家用車での通勤といった安全や健康に配慮した働き方を設定することで、感染リスクが最小限になるよう努めています。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/occupational-health-and-safety.html>

### ⑧ メンタルヘルス対策に関すること

情報開示あり。メンタルの不調者の発生しない職場作り。従業員への研修、カウンセリング、ストレスチェックについて、長時間労働者対策、職場復帰と両立支援

策の実施の記述あり。

#### 5. メンタル不調の発生しない快適な職場環境づくりを推進します。

メンタル不調者の発生しない職場環境づくりに向けて、管理職を含む従業員への教育研修、カウンセリング、法に基づいたストレスチェック、長時間労働者対策を実施しています。さらにはメンタル不調者への職場復帰、両立支援策を実施しています。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

⑨ 私傷病休業・休職者数  
情報開示なし。

⑩ 喫煙率等、労働者の健康状態に関するデータ  
開示有り。健康診断受診率 100%を継続しているとの記載あり。

#### 1. 国内連結での健康診断100%継続と、海外グループ会社への啓発

国内シオノギグループ社員の定期健康診断の受診率は100%を継続しています。また、海外グループ会社社員の健康診断受診状況を確認し、受診促進施策を検討しています。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

喫煙者ゼロへ向けた取り組みと 2018 年からの実績と目標の掲載あり。

#### 4. 喫煙者ゼロを目指し、事業所内禁煙を達成します。

2018年7月に健康増進法の一部を改正する法律が成立（2020年4月全面施行）し、望まない受動喫煙を防止するための取り組みが、「マナー」から「ルール」へと変わりました。企業においても、より一層の喫煙対策を推進しなければならない環境となったことを機に、「シオノギグループ『絶』煙宣言」を发出了しました。

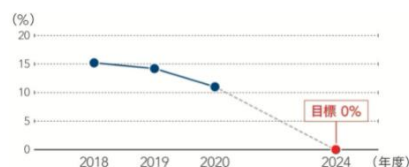
この宣言のもと、シオノギグループの従業員やご家族の方はもとより、シオノギに関係するすべての人々を能動喫煙および受動喫煙による健康被害から守るため、徹底した禁煙施策を推進しています。

具体的な社内での取り組みの1つとして、有志のメンバーによる禁煙推進プロジェクトを結成しました。プロジェクトメンバーが毎月22日（禁煙推進学術ネットワークが定めた「禁煙の日」）に、シオノギグループ全従業員にメールマガジンを発行し、社長を含めた経営層からのメッセージや、喫煙・禁煙の社内ポータルサイト情報、禁煙チャレンジしているプロジェクトメンバーの状況など、喫煙者・非（元）喫煙者の双方の従業員に有益な情報提供を行っています。

喫煙者に対する取り組みとしては、社内で「禁煙チャレンジャー」を募集し、喫煙者がワークショップや臨床心理士/公認心理士とのweb面談等のサポートのもとで禁煙に取り組んでいます。2020年度はチャレンジャー5名全員が1年間の禁煙を達成し、卒煙証書を贈呈されました。健康保険組合による禁煙治療やオンライン禁煙プログラム等への補助も実施しています。



禁煙チャレンジ1周年記念イベントの様子



喫煙率の実績と目標

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

「シオノギグループ『絶』煙宣言の発出の記載あり。

<https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/sustainability/society/office/pdf/Smoke-Free%20Declaration-ja.pdf>

シオノギグループ『絶』煙宣言

シオノギグループをあげて、「絶対に」タバコの煙の影響を受けない職場・家庭・社会環境を実現するという強い決意をこめ、2024年までにシオノギグループ従業員の「喫煙率ゼロ」を達成することを宣言します。

従業員が健康であるためには、より良い職場環境や風土、社内制度および家庭環境が重要であると考えています。その中で、タバコによる健康被害のない環境の実現は、グループが一丸となって取り組まなければならない重要な課題であり、健康的な社会環境づくりにも貢献する取り組みです。

今後もシオノギグループでは、全ての従業員に「健康面でなんの不安もなく、能力を十分に活かして仕事をし、ご家族と共にプライベートも充実している」状態であってほしいと願い、健康経営を推進していきます。まずはファミリー一丸となって絶煙を推進していきましょう。

塩野義製薬株式会社  
代表取締役社長  
**手代木 功**

⑪ 健康経営銘柄/健康経営優良法人の認定状況

情報開示あり。健康経営優良法人ホワイト500 に5年連続で認定

これまでの活動の結果として、2021年3月、「健康経営優良法人2020（ホワイト500）」に選定されました。

「健康経営優良法人」とは、健康経営優良法人認定制度において、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するものです。シオノギの健康維持、増進活動が社会から高く評価され、2017年より5年連続での認定となりました。



2021  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

シオノギは、健康経営優良法人に選定された企業として、健康経営の推進を目指す企業からの求めに応じて、シオノギの取り組み等の情報を共有したり、専門雑誌の取材に応じる等、健康経営に取り組む企業をサポートする活動も実施しています。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health->



- ⑫ その他に重要と思われる情報  
プレゼンティーズム損失の改善についての開示。

### 3. プレゼンティーズム損失を改善します。

プレゼンティーズム損失とは「出社していても、何らかの不調のせいで頭や体が思うように働かず、本来発揮されるべきパフォーマンス（職務遂行能力）が低下している状態のこと」を指します。

近年、労働生産性を測る指標の一つとしてプレゼンティーズムが注目され始めており、シオノギでは、以下の取り組みを通じて従業員や社会への啓発活動を行っています。

- ・「従業員向け」および「メディア向け」にプレゼンティーズムをテーマとしたセミナーを開催し、外部の専門家（松平浩先生 東京大学医学部付属病院22世紀医療センター）を招聘して医学的な知識のほか、職場でできる腰痛改善のための体操等の紹介をしていただきました。
- ・リモートワークの普及に対応し、自宅での作業環境整備や腰痛対策運動、生活習慣の改善などを紹介するe-ラーニングを実施しました。



セミナーの様子



腰痛改善のための体操

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/office/health-management.html>

<取引先企業（サプライチェーン）の労働安全衛生>

サプライチェーンマネジメントの Website あり。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/supply-chain-management.html>

- ① 調達/取引に関する基本方針

情報開示あり。「シオノギグループ調達ポリシー」の 3.2 に安全衛生に関する記述あり。

### 3.2 人権、労働環境、安全衛生及び地球環境への配慮

- ・ 人権に関する各種国際規範に則り、すべての人々の人権を尊重し、労働環境、安全衛生に配慮した調達を推進いたします。
- ・ 環境関連法規を遵守するとともに、地球環境に配慮した調達を推進いたします。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/company/policies/shionogi-group-procurement-policy.html>

#### ② 取引先企業（サプライチェーン）の安全衛生監査の実施状況

サプライヤーのリスク管理と監査実績の掲載あり。確認書、アンケート、現地監査の実施についてあるが、その中での労働安全衛生など詳細の記述なし。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/society/supply-chain-management.html>

サプライヤーの管理レベルと実施項目

No.	取扱区分(品目)	管理レベル	実施項目		
			確認書	アンケート	現地監査
1	PV[*1]製造以降の開発品の原薬・中間体・製剤 (GMP[*2]工程) のサプライヤー	高	○	○	○
2	代替先のないサプライヤー 新製品の原薬・中間体・製剤 (GMP工程) のサプライヤー	中	○	○	
3	上記以外のサプライヤー (汎用原料メーカー、包装工程受託業者など)	低	○		

※1 PV (プロセスバリデーション) : 工業化研究の結果や類似製品に対する過去の製造実績等に基づき、あらかじめ特定した製品品質に影響を及ぼす変動要因(原料及び資材の物性、操作条件等)を考慮した上で設定した許容条件の下で稼働する工程が、目的とする品質に適合する製品を恒常的に製造するために妥当であることを確認し、文書化すること。

※2 GMP (Good Manufacturing Practice) : 医薬品の製造と品質管理に関する国際基準。医薬品製造においては医薬品等の原材料の入荷、検品から製造、製品の包装、出荷管理、製品保管、回収処理などに係る業務についてGMP省令を遵守することが定められている。

③ 取引先企業（サプライチェーン）の労働災害件数のモニタリング実施状況

情報開示なし。

④ 労働災害への改善策とその進捗・結果

情報開示なし。

⑤ その他に重要と思われる情報

PSCI (Pharmaceutical Supply Chain Initiative) の原則の一つとして、安全衛生が掲げられている。

### サプライチェーンにおける取り組み

PSCIが掲げる基本原則には、環境、安全衛生のみならず、労働者の権利、倫理、およびこれらのマネジメントシステム等の多岐にわたる原則が記載されています。2020年に原則が改訂され、さらに項目が追加されました。シオノギは改訂後の原則も引き続き支持するとともに、サプライヤーの皆さまにも賛同を強く求めています。

#### PSCI Principles (項目のみ抜粋)

<p><b>【倫理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 贈収賄および汚職の禁止</li><li>2 公正な競争</li><li>3 動物愛護</li><li>4 データのプライバシーと保護</li><li>5 患者の安全と情報へのアクセス</li><li>6 利益相反</li></ol>	<p><b>【人権と労働】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 職業選択の自由</li><li>2 児童労働と年少者労働</li><li>3 差別禁止</li><li>4 公正な処遇</li><li>5 賃金、手当および労働時間</li><li>6 結社の自由</li></ol>	<p><b>【安全衛生】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 従業員の保護</li><li>2 プロセスの安全性</li><li>3 緊急事態への準備と対応</li><li>4 危険性情報</li></ol>
<p><b>【環境】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 環境に関する認証と報告</li><li>2 廃棄物と排出物</li><li>3 漏出と流出</li><li>4 資源の利用</li><li>5 持続可能な調達とトレーサビリティ</li></ol>	<p><b>【マネジメントシステム】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 コミットメントと責任</li><li>2 法的要求と顧客からの要求</li><li>3 リスクマネジメント</li><li>4 文書管理</li><li>5 教育研修と能力</li><li>6 継続的改善</li><li>7 懸念事項の確認</li><li>8 コミュニケーション</li></ol>	

[https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/sustainability/society/supply-socially-responsible-products-and-services/pdf/The%20PSCI%20Principles%20\\_2020\\_.jp.pdf](https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/sustainability/society/supply-socially-responsible-products-and-services/pdf/The%20PSCI%20Principles%20_2020_.jp.pdf)

7. 投資家との対話（エンゲージメント）において、安全衛生や労働者の健康が話題となったことがありますか

不明

以上

2022年2月

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・  
フォー・サステイナブル・サプライチェーン

下田屋毅

## ESG 情報開示、労働安全衛生についてのまとめ

### 1. 対象企業： Nestlé S.A.

※インタビューを打診するも先方の調整がつかず、CSV報告書、関連補足資料上での調査を実施

### 2. 内容

(1) 貴社の ESG 情報開示を担当する部門はどの部門になりますか。(担当者/選任者の有無)

不明

(2) ESG 情報開示として、サステナビリティ報告書等へ記載する安全衛生、健康について、どの部署が担当、そして執筆していますか。

不明

(3) ESG 情報開示担当部門、サステナビリティ部門、安全衛生部門はどのように安全衛生の情報開示について連携をしていますか。

不明

(4) 安全衛生に関する情報開示を行っている媒体は何になりますか？(サステナビリティ報告書、統合報告書、Website 他)

Creating Shared Value report, Creating Shared Value and Sustainability Report 2020  
Appendix、Website

(5) 安全衛生と健康に関して執筆する項目はどのように決めていますか？(GRI、SASB、インデックス/投資家からの要請等)

GRI のガイドラインを使用している。またビジネスと人権に関して UN Guiding Principles on Business and Human Rights Reporting Framework を使用している。

FTSE4Good Index、MSCI のインデックスに入っている。

[External recognition | Nestlé Global \(nestle.com\)](#)

(6) 次の安全衛生と健康に関する情報開示（サステナビリティ報告書・Website 等）の報告事項について、記載の有無と記載の場合の理由についてお聞かせください。

<労働安全衛生>

① 労働安全衛生の基本方針の制定

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work

[policy-on-safety-and-health-at-work.pdf \(nestle.com\)](#)

Explanation of the material topic and its boundary

The management approach and its components

Evaluation of the management approach

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P80

103-1 Explanation of the material topic and its Boundary	<b>CSV and SR 2020 Appendix:</b> Focusing on our material issues p8 <b>CSV and SR 2020 Appendix:</b> Material issues across the value chain p9-10 <b>C:</b> Workplace health and safety p42 <b>Web:</b> Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a>
103-2 The management approach and its components	<b>C:</b> Grievance mechanisms and remediation p38 <b>Web:</b> Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a> <a href="#">Nestlé Policy on Safety and Health at Work</a> <a href="#">Labour Rights in Agricultural Supply Chains: A Roadmap</a> <b>Web:</b> Governance and policies > Our internal governance structure <a href="https://www.nestle.com/csv/what-is-csv/governance">https://www.nestle.com/csv/what-is-csv/governance</a> <a href="#">Nestlé Commitment on Labour Rights in Agricultural Supply Chains</a> <a href="#">Nestlé Responsible Sourcing Standard</a>
103-3 Evaluation of the management approach	<a href="#">Nestlé Policy on Safety and Health at Work</a> <b>Web:</b> Governance and policies > Our internal governance structure <a href="https://www.nestle.com/csv/what-is-csv/governance">https://www.nestle.com/csv/what-is-csv/governance</a> <b>Web:</b> Our culture of business ethics and integrity <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/respecting-human-rights/ethical-conduct">https://www.nestle.com/csv/impact/respecting-human-rights/ethical-conduct</a> <b>C:</b> Grievance mechanisms and remediation p38

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

② 労働安全衛生の社内での組織・体制

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work

[policy-on-safety-and-health-at-work.pdf \(nestle.com\)](#)

③ 労働安全衛生が取締役会で報告・審議されていること

情報開示なし

④ 労働安全衛生マネジメントシステムの認証（ISO45001, OHSAS18001 など）

Occupational health and safety management system

## Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P80

<p>403-1 Occupational health and safety management system</p>	<p>To be at the forefront of accident prevention in the industry, we implement an Occupational Health and Safety Management System in all our sites across the globe according to International Standards (ISO 45001), which is externally certified. This is expected to be over and above any legal requirements that we are mindful of complying with fully. <a href="#">Nestlé Policy on Safety and Health at Work</a></p>
---	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

Workers covered by an occupational health and safety management system

## Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

<p>403-8 Workers covered by an occupational health and safety management system</p>	<p><b>C: Workplace health and safety p42</b> 97% of employees on-site and off-site and contractors are covered by an externally certified occupational health and safety management system. Our Occupational Health and Safety Management System is both internally audited and certified by an external party. It covers everyone working on Nestlé premises (and employees working everywhere). Nestlé calculates the number and percentage of all persons covered by our system, but we do not differentiate between employees and contractors, since they are all under the purview of our Management System. The Nestlé Management System makes it mandatory for site certification according to International Standards (ISO 45001). All sites are required to report their health and safety management system certification status on a quarterly basis. There is an internal, global standardized approach for data capture and processing in compliance with requirements of internal standards. This is aligned with expectations of ISO 45001 and ensures proper compilation of data on workers through the use of the SHE-PM (Safety, Health and Environment-Performance Management).</p>
---	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

### ⑤ 安全や健康に関するリスク評価の結果

Hazard identification, risk assessment and incident investigation

## Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P80

Disclosure	Page number(s) and/or URL(s)
<p>403-2 Hazard identification, risk assessment and incident investigation</p>	<p>As outlined in the Nestlé Policy on Safety and Health at Work, we commit to perform systematic identification of hazards and to manage them with appropriate risk assessments and subsequent actions to minimize danger. Our Occupational Health and Safety Management System based on ISO 45001 integrates an approach for the identification of work-related hazards. Beyond this, we have a Nestlé internal guideline called Safety and Health Risk Management, which ensures due focus is given to this following an ESTOP (eliminate, substitute, technical/engineering controls, operating/administrative controls, personal protective equipment) approach for the hierarchy of controls. In addition to the process as per ISO 45001 for identification of work-related hazards on a non-routine basis, we have a Nestlé Guideline on Management of Change. The Nestlé internal Employee Health Management Standard outlines the approach for non-routine tasks or work situations, health surveillance needs, hazards monitoring and worker complaints and case management. Incident investigations require compliance with the Nestlé internal standard on 'Incident analysis and reporting' defining the requirements. All internal Occupational Health and Safety standards outline training and competency requirements related to the relevant tasks for the person carrying out quality control of processes. Nestlé has a process in place that allows workers to report work-related hazards and hazardous situations. In line with the ISO 45001 requirements, our employees are informed and trained on identifying and reporting work-related hazards and hazardous situations proactively. According to the Nestlé Global Policy on Occupational Safety and Health, employees are empowered to challenge any unsafe acts they see or perceive; or put a task on hold if they judge that safety is not adequate, until a competent person takes appropriate risk control measures. Workers are also enabled to report unsafe behaviors in an anonymous way via the <i>Nestlé Integrity Reporting System</i> (which is accessible in every market). <a href="#">Nestlé Policy on Safety and Health at Work</a> <b>Web:</b> Communities &gt; Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a></p>

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑥ 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション

Worker participation, consultation and communication on occupational health and safety

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

403-4 Worker participation, consultation and communication on occupational health and safety	We have a clearly defined approach as per the requirements of ISO 45001 for workers to participate and consult in the development, implementation and evaluation of our Occupational Health and Safety Management System. In addition, health and safety are regular topics on the agenda of our meetings with the International Union of Food at the global level, with the European Works Council at the European level and of the Health and Safety Councils at the market level. All concerns raised are being addressed by the respective forums. New projects in the area of health and safety are subject to consultation with workers' representatives/unions in accordance with local legislation. Health and safety provisions are part of the collective bargaining and are present in 213 collective bargaining agreements at the global level.
---	---

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑦ 労働安全衛生に関する労働者研修

Worker training on occupational health and safety

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

403-5 Worker training on occupational health and safety	Occupational health and safety trainings to workers and contractors on specific work-related hazards, hazardous activities or hazardous situations are part of the onboarding process as per the requirements of the International Standard (ISO 45001). Additionally, the Nestlé internal Employee Health Management Standard defines the expectations around management of work-related hazards, hazardous activities or hazardous situations with a view to worker health. <b>Web:</b> Communities > Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a>
--	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑧ 労働安全衛生の担当者への教育・研修

Worker training on occupational health and safety

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

403-5 Worker training on occupational health and safety	Occupational health and safety trainings to workers and contractors on specific work-related hazards, hazardous activities or hazardous situations are part of the onboarding process as per the requirements of the International Standard (ISO 45001). Additionally, the Nestlé internal Employee Health Management Standard defines the expectations around management of work-related hazards, hazardous activities or hazardous situations with a view to worker health. <b>Web:</b> Communities > Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a>
--	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑨ 労働災害件数（死傷者数も含む）

Worker related incidents

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82



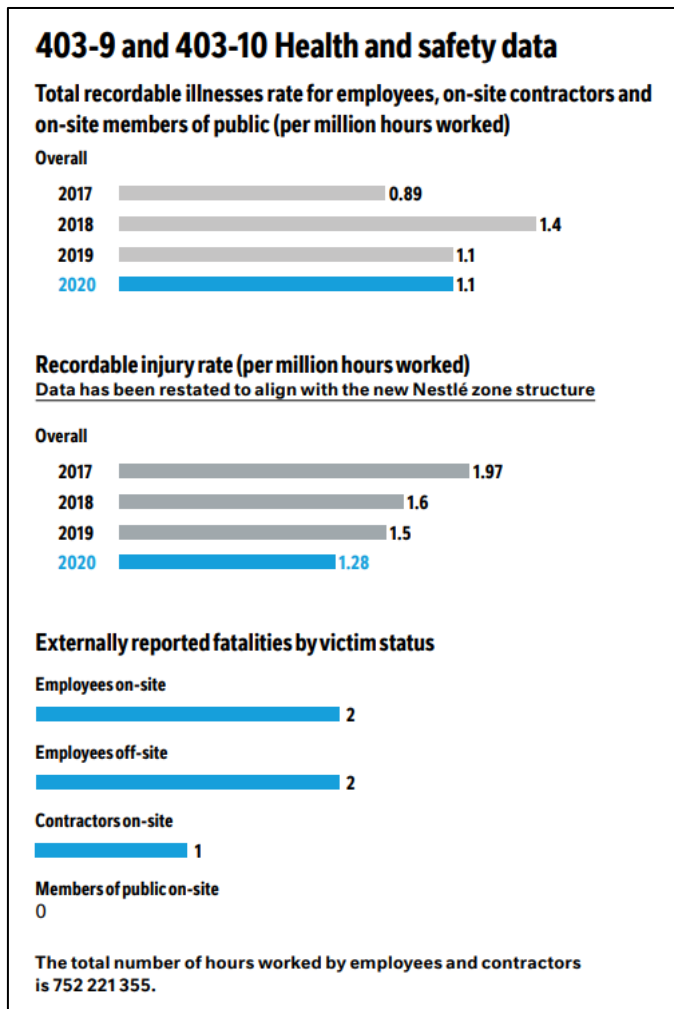
Disclosure	Page number(s) and/or URL(s)	Identified omission(s)	Reason(s) for omission(s)	Explanation for omission(s)
403-9 Work-related injuries	See GRI Index Appendix: 403-9 Health and Safety data In 2020, the total number of recordable work-related injuries was 960. This figure covers both employees and contractors and is a 21% reduction compared to the previous year. In 2020, 12 employees had high-consequence work-related injuries (excluding fatalities). In 2020, high-consequence work-related injuries (excluding fatalities) for entities whose work and/or workplace is controlled by the organization, e.g. contractors and volunteers, was two. The recordable injury rate for 2020 covers employees and contractors. We do not differentiate between employees and contractors in collecting and calculating injury data since they are all under the purview of our management system. Work-related hazards that pose a risk of high-consequence injury are defined by Nestlé's internal standards on 'Incident analysis and reporting' and Management of High Hazard Tasks and the corresponding guidelines pertaining to this. We have standards related to specific risks. Driving and machinery hazards are examples of hazards that have caused or contributed to high-consequence injuries during 2020. The approach undertaken by Nestlé to eliminate hazards and minimize risks using the hierarchy of controls has included in-depth analysis of the relevant incidents, sharing of key learnings within the community, updating of standards where relevant (e.g. one standard was updated with insights and inputs gathered), conducting training sessions (e.g. global webinars on safe driving) and exploring alternative solutions (e.g. mobile applications to aid in safe driving) and global learning solutions (e.g. the development of a global e-learning module on machinery safety).	Rate of high-consequence work-related injuries (excluding fatalities) Rate of fatalities as a result of work-related injury	The information is currently unavailable.	We do not calculate the rate of fatalities as a result of work-related injuries and rate of employees with high-consequence work-related injuries (excluding fatalities). We calculate the absolute number and it is closely monitored by all senior management to aim for zero.

Health and safety data

Recordable injury rate (per million hours worked)

Externally reported fatalities by victim status

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P104



<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑩ その他に重要と思われる情報

Customer of the material topic and its boundary の explanation of the material topic and its boundary and the management approach and its components を情報開示

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

Customer health and safety	
103-1 Explanation of the material topic and its Boundary	<p>At Nestlé, we act to strengthen the global food chain and drive toward one world, one safe food supply. Through our engagement with the Global Food Safety Initiative (GFSI), we collaborate with leading food safety experts from the food industry, governments and academia to benchmark and harmonize food safety practices globally. Where applicable, more than 85% of our suppliers have achieved certification to a GFSI-recognized food safety program. We support capability building for suppliers with less sophisticated food safety systems through our endorsement of GFSI's Global Markets Program, which provides a step-by-step process to develop and improve food safety systems with the aim to eventually attain a GFSI-recognized certification.</p> <p><b>laF:</b> Building, applying and sharing nutrition knowledge p24  <b>CSV and SR 2020 Appendix:</b> Material issues across the value chain p9-10  <b>Web:</b> Quality and safety <a href="https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety">https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Sugars <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-sugars.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-sugars.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Sodium (Salt) <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-salt.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-salt.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Saturated Fat <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-saturated-fat.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-saturated-fat.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Micronutrient Fortification of Foods &amp; Beverages <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/corporate_social_responsibility/nestle-policy-micronutrient-fortification-foods-beverages.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/corporate_social_responsibility/nestle-policy-micronutrient-fortification-foods-beverages.pdf</a></p>
103-2 The management approach and its components	<p><b>laF:</b> Offering tastier and healthier choices p10  <b>laF:</b> Launching more nutritious products p11  <b>laF:</b> Promoting healthy behaviors in children p20  <b>Web:</b> Quality and safety <a href="https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety">https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety</a></p>

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

<健康経営（働く人の健康）>

① 健康経営の基本方針の制定

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work [policy-on-safety-and-health-at-work.pdf \(nestle.com\)](https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-safety-and-health-at-work.pdf)

② 健康経営の社内での組織・体制

情報開示あり。The Nestlé Policy on Safety and Health at Work [policy-on-safety-and-health-at-work.pdf \(nestle.com\)](https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-safety-and-health-at-work.pdf)

Occupational health services

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P81

<p>403-3 Occupational health services</p>	<p><b>C:</b> Workplace health and safety p42 <b>Web:</b> Communities &gt; Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a></p> <p>According to the Nestlé Global Policy on Occupational Safety and Health, employees are empowered to: challenge any unsafe acts they see or perceive; put a task on hold if they judge that safety is not adequate, until a competent person takes appropriate risk control measures. The policy also outlines the steps to be taken for workers to remove themselves from work situations that they believe could cause injury or ill health. In addition, health and safety are regular topics on the agenda of our meetings with the International Union of Food at the global level, with the European Works Council at the European level and of the Health and Safety Councils at the market level. All employee concerns that are raised are addressed by the respective forums.</p> <p>The Nestlé internal guideline on Safety and Health Risk Management and the Nestlé internal standard on 'Incident analysis and reporting' define the processes related to investigation of work-related incidents.</p> <p>The Nestlé internal 'Employee Health Management' Standard outlines the functions and expectations of occupational health services. The employee health community has four roles:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Occupational health team members (doctors and nurses) who ensure appropriate case management and compliance with health monitoring requirements as well as determination and reporting of work-related illnesses.</li> <li>2. Health champions/health managers who ensure the work environment facilitates and safeguards employee health and well-being through various programs and communication channels.</li> <li>3. Members in the corporate medical network (doctors and nurses) who ensure that the health strategies in a geographical entity (country or market) are not only aligned with the expectation of health authorities but also with those of Nestlé and is enriched with insights from a global perspective.</li> <li>4. Safety and health managers (safety experts) who support compliance with internal health and safety standards.</li> </ol>
---	---

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

③ 産業医や保健師等の産業保健スタッフの体制

Occupational health services

Occupational health team members (doctors and nurses) who ensure appropriate case management and compliance with health monitoring requirements as well as determination and reporting of work-related illnesses.

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P81

<p>403-3 Occupational health services</p>	<p><b>C:</b> Workplace health and safety p42 <b>Web:</b> Communities &gt; Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a></p> <p>According to the Nestlé Global Policy on Occupational Safety and Health, employees are empowered to: challenge any unsafe acts they see or perceive; put a task on hold if they judge that safety is not adequate, until a competent person takes appropriate risk control measures. The policy also outlines the steps to be taken for workers to remove themselves from work situations that they believe could cause injury or ill health. In addition, health and safety are regular topics on the agenda of our meetings with the International Union of Food at the global level, with the European Works Council at the European level and of the Health and Safety Councils at the market level. All employee concerns that are raised are addressed by the respective forums.</p> <p>The Nestlé internal guideline on Safety and Health Risk Management and the Nestlé internal standard on 'Incident analysis and reporting' define the processes related to investigation of work-related incidents.</p> <p>The Nestlé internal 'Employee Health Management' Standard outlines the functions and expectations of occupational health services. The employee health community has four roles:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Occupational health team members (doctors and nurses) who ensure appropriate case management and compliance with health monitoring requirements as well as determination and reporting of work-related illnesses.</li> <li>2. Health champions/health managers who ensure the work environment facilitates and safeguards employee health and well-being through various programs and communication channels.</li> <li>3. Members in the corporate medical network (doctors and nurses) who ensure that the health strategies in a geographical entity (country or market) are not only aligned with the expectation of health authorities but also with those of Nestlé and is enriched with insights from a global perspective.</li> <li>4. Safety and health managers (safety experts) who support compliance with internal health and safety standards.</li> </ol>
---	---

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

④ 健康経営が取締役会で報告・審議されていること

情報開示なし。

⑤ 労働者の健康課題の抽出

Promotion of worker health

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P82

403-6 Promotion of worker health	We believe promotion of worker health is integral to an occupational health approach. The Nestlé internal Employee Health Management Standard outlines the basic expectations around the promotion of worker health and case management. Additionally, there are further elements such as health promotion initiatives, medical benefits programs and the presence of occupational health teams on site. There are clearly defined roles in Employee Health to deliver on these expectations (please refer to response for 403-3).  From a survey conducted in 2016, 97% of respondents said there were currently health and wellness programmes or activities being implemented in their market.  <b>Web:</b> Communities > Workplace health and safety <a href="https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces">https://www.nestle.com/csv/impact/employment-diversity/healthy-workplaces</a>
--	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑥ 長時間労働等の働き方に関する状況

情報開示あり。

Issue 2: Working time として

C: Workplace health and safety p42

勤務時間中に休憩を促進するための簡単にアクセスできるデジタルプラットフォームの提供の掲載あり。勤務時間中の休憩を取れるような改善の仕組み

⑦ COVID-19 への職場における感染対策

情報開示あり。

[Workplace health and safety | Nestlé Global \(nestle.com\)](https://www.nestle.com/workplace-health-and-safety)

The COVID-19 pandemic completely transformed the requirements for safeguarding our employees. Since the start of the pandemic, we have encouraged remote working as much as possible. We have also given parents the flexibility to manage their family responsibilities alongside their professional obligations.

⑧ メンタルヘルス対策に関すること

Work related ill health

コロナ禍でのメンタルの不調を訴える人がいるとの記述のみ

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P83

403-10 Work-related ill health	<p>See <a href="#">GRI Index Appendix: 403-9 Health and Safety data</a></p> <p>In 2020, there were no employee or contractor fatalities as a result of work-related ill-health.</p> <p>There were 825 cases of recordable work-related ill-health for employees and 24 cases of recordable work-related ill-health for contractors.</p> <p>In 2020, we had lower reporting than usual for work-related illnesses with a high focus on COVID-19-related work. The highest reported examples of work-related ill-health included musculoskeletal disorders, hearing impairment and mental ill-health.</p> <p>The work-related hazards that pose a risk of ill-health include manual handling and awkward postures, workplace noise, psychological factors at work, infectious agents and chemicals. The Nestlé internal standards, including Employee Health Management Standard, 'Incident analysis and reporting' and Management of High Hazard Tasks and its corresponding guidelines, define the requirements pertaining to how these hazards are managed.</p> <p>Manual handling and awkward postures and workplace noise contributed significantly to the majority of the reported cases of ill-health in 2020. Psychological factors at work were identified as the third-most common hazard.</p> <p>No workers have been excluded from calculations on ill-health.</p>
-----------------------------------	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑨ 私傷病休業・休職者数

Work related ill health

従業員の記録可能な仕事関連の健康障害は 825 例、請負業者の記録可能な仕事関連の健康障害は 24 例との記述あり。

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P83

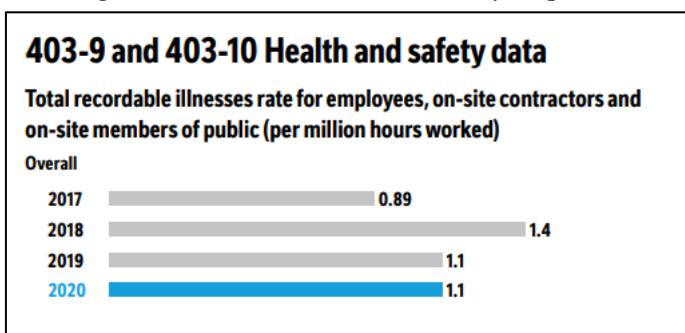
403-10 Work-related ill health	<p>See <a href="#">GRI Index Appendix: 403-9 Health and Safety data</a></p> <p>In 2020, there were no employee or contractor fatalities as a result of work-related ill-health.</p> <p>There were 825 cases of recordable work-related ill-health for employees and 24 cases of recordable work-related ill-health for contractors.</p> <p>In 2020, we had lower reporting than usual for work-related illnesses with a high focus on COVID-19-related work. The highest reported examples of work-related ill-health included musculoskeletal disorders, hearing impairment and mental ill-health.</p> <p>The work-related hazards that pose a risk of ill-health include manual handling and awkward postures, workplace noise, psychological factors at work, infectious agents and chemicals. The Nestlé internal standards, including Employee Health Management Standard, 'Incident analysis and reporting' and Management of High Hazard Tasks and its corresponding guidelines, define the requirements pertaining to how these hazards are managed.</p> <p>Manual handling and awkward postures and workplace noise contributed significantly to the majority of the reported cases of ill-health in 2020. Psychological factors at work were identified as the third-most common hazard.</p> <p>No workers have been excluded from calculations on ill-health.</p>
-----------------------------------	--

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑩ 喫煙率等、労働者の健康状態に関するデータ

Total recordable illnesses rate for employees, on-site contractors and on-site members of public (per million hours worked)

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P104



<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

⑪ 健康経営銘柄/健康経営優良法人の認定状況

特に記載なし

⑫ その他に重要と思われる情報

Customer Health and Safety に関する記載

Customer health and safety	
103-1 Explanation of the material topic and its Boundary	<p>At Nestlé, we act to strengthen the global food chain and drive toward one world, one safe food supply. Through our engagement with the Global Food Safety Initiative (GFSI), we collaborate with leading food safety experts from the food industry, governments and academia to benchmark and harmonize food safety practices globally. Where applicable, more than 85% of our suppliers have achieved certification to a GFSI-recognized food safety program. We support capability building for suppliers with less sophisticated food safety systems through our endorsement of GFSI's Global Markets Program, which provides a step-by-step process to develop and improve food safety systems with the aim to eventually attain a GFSI-recognized certification.</p> <p><b>laF:</b> Building, applying and sharing nutrition knowledge p24  <b>CSV and SR 2020 Appendix:</b> Material issues across the value chain p9-10  <b>Web:</b> Quality and safety <a href="https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety">https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Sugars <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-sugars.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-sugars.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Sodium (Salt) <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-salt.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-salt.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Saturated Fat <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-saturated-fat.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/about_us/nestle-policy-saturated-fat.pdf</a>  <b>Web:</b> Nestlé Policy on Micronutrient Fortification of Foods &amp; Beverages <a href="https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/corporate_social_responsibility/nestle-policy-micronutrient-fortification-foods-beverages.pdf">https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/library/documents/corporate_social_responsibility/nestle-policy-micronutrient-fortification-foods-beverages.pdf</a></p>
103-2 The management approach and its components	<p><b>laF:</b> Offering tastier and healthier choices p10  <b>laF:</b> Launching more nutritious products p11  <b>laF:</b> Promoting healthy behaviors in children p20  <b>Web:</b> Quality and safety <a href="https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety">https://www.nestle.com/aboutus/quality-and-safety</a></p>

<取引先企業（サプライチェーン）の労働安全衛生>

① 調達/取引に関する基本方針

Nestlé Commitment on Labour Rights in Agricultural Supply Chains

[nestle-commitment-labour-rights-agricultural-supply-chains.pdf](#)

Nestle Responsible sourcing standard

[nestle-responsible-sourcing-standard-english.pdf](#)

② 取引先企業（サプライチェーン）の安全衛生監査の実施状況

New Suppliers that were screened using social criteria に監査の記述有

Creating Shared Value and Sustainability Report 2020 Appendix P94

<p>414-1 New suppliers that were screened using social criteria</p>	<p>The Nestlé <i>Responsible Sourcing Standard</i> describes the requirements and ways of working that we apply together with our suppliers to ensure the sustainable long-term supply of materials and services to Nestlé. It sets out basic non-negotiable standards as well as important and urgent sustainability practices that we ask our suppliers, their employees, agents and subcontractors to respect and to adhere to at all times when conducting business. It is an integral part of all of our purchase orders and supply contracts. We verify compliance with the Standard by our direct suppliers in scope of our Sustainable Sourcing Tier 1 program, through independent audits carried out by audit firms accredited by Nestlé. These audits follow the <i>SMETA Best Practice Guidance</i>. If noncompliance issues or gaps are found, a time-bound action plan is developed and implemented by the supplier. The implementation of this plan will be later verified by the auditor. In the event a supplier refuses to undergo an audit or to close gaps, we may terminate the business relationship.</p> <p>We do not screen any supplier on compliance with our <i>Responsible Sourcing Standard</i> prior to them becoming suppliers. They all accept to comply with our <i>Responsible Sourcing Standard</i> as a condition of becoming our supplier.</p> <p><b>Web:</b> Responsibly sourcing our raw materials <a href="https://www.nestle.com/csv/responsible-sourcing-raw-materials">https://www.nestle.com/csv/responsible-sourcing-raw-materials</a></p>
---	---

<https://www.nestle.com/sites/default/files/2021-03/creating-shared-value-appendix-2020.pdf>

③ 取引先企業（サプライチェーン）の労働災害件数のモニタリング実施状況

情報開示なし。

④ 労働災害への改善策とその進捗・結果

情報開示なし。

⑤ その他に重要と思われる情報

特になし。

7. 投資家との対話（エンゲージメント）において、安全衛生や労働者の健康が話題となったことがありますか

不明

以上